

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	04400000	市民協働部 スポ振課		
大事業	A1	6 つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費		01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合					目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから								
小事業	01	生涯スポーツ推進事業		目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	スポーツは健康的なライフスタイルを促進する上で非常に重要であり、コミュニティを形成し協力、チームワークなどの社会的なつながりを促進する。本市のスポーツ実施率は、国や県と比較して低い状況にあるが、スポーツを始めるきっかけが少ない現状がある。				
	対 象	市民				
	目 的	スポーツフェスティバルや出前講座（高齢者、子ども向け）の開催、障がい者スポーツの推進し、スポーツの楽しさを伝え、スポーツをはじめるきっかけを創出し、スポーツ実施率の向上を目指す。また「スポーツ・イン・ライフ」を実現し、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図る。				
	概 要	これからスポーツをはじめたいと考えている人のための体験会や、家族で参加できるイベント（スポーツフェスティバル）を開催し、生涯にわたりスポーツを楽しむきっかけを提供する。また、出前講座を実施し、手軽に行える軽スポーツの普及を図る。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	550	420	402	486	522
	決算額	339	116	204	421	394
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	4,838 / 2,154				



アウト プ ット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	新種目の設置や内容の見直し件数	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	0	2	1	1

アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	参加者数（スポーツフェスティバル+ 出前講座）	目標値	710	740	770	800	320
		実績値	198	0	139	305	264

実 績	実 績	参加者数 264人 ・スポーツフェスティバル 参加者193人 10/13 フィットネス・親子スポーツ・レク体験  ・出前講座 受講者71人 6/13 ボッチャ15名、8/21 ユニカール56人、
	効 果	スポーツフェスティバルや出前講座を実施することにより、幅広い年代層にスポーツの楽しさを伝え、スポーツをはじめるきっかけを創出することができた。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	スポーツフェスティバルで、パルクール鬼ごっこを取り入れるなど内容の見直しを行い、集客に努めるようにした。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	スポーツフェスティバル令和5年度開催の際の参加人数122人より令和6年度は193人と増えたが、出前講座の開催回数が令和5年度8回で183人であったのが令和6年度は2回で71人参加にとどまったため、参加者数が目標値より少なかった。 生涯学習課を窓口に出前講座の申込を受けているが、通常夏休みの放課後児童クラブの申込が多数あるが、昨年は熱中症予防の観点から1回しか行われなかった。
	実績からR07年度の 事業の方向性	R7年度についても引き続き、フェスティバルは幅広い年代層が参加できるようなプログラムを計画し、参加者の増を目指す。また、岐阜県レクリエーション協会より指導者派遣をしていただき、新種目の体験を検討する。 出前講座については講座メニューを軽スポーツ1種目ごとに分けることで利用しやすくしていく。

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	04400000	市民協働部	スガ振課
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費	01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから							
小事業	02	ウォーキング推進事業		目標年度	令和6年度					



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	本市のスポーツ実施率は、国や県と比較して低い状況にあり、幅広い年代層からこれからやってみたいスポーツとして、ウォーキングが求められている。				
	対 象	市民				
	目 的	日常生活の中で手軽にできるウォーキングを推奨することで、スポーツ実施率の向上を目指し、「スポーツ・イン・ライフ」を実現し、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図る。 ・楽しみながら歩くことのきっかけの創出 ・自発的なウォーキングの習慣化を支援 ・全身運動や下半身への負担が少ないボールを使うことで、より健康的なウォーキングの普及を図る。				
	概 要	・市内の観光施設を中心に年間8回ウォーキングイベントを開催することで、運動習慣のきっかけを創出する。（健康課との共催事業） ・長期間に一定以上の歩数を歩いた人に賞品を贈呈することで、市民がウォーキングを習慣化するのきっかけを創出する。 ・ボールを使ったウォーキング講習会の実施や備品の貸出を実施し、ボールウォーキングの普及を図る。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	2,352	2,409	1,863	1,652	1,498
決算額		1,097	1,422	996	1,428	1,221
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		7,283 / 3,258				



アウト プ ット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	イベント内容の改善数	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	2	1	1

アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	「ウォークみのかも」参加者数	目標値	2,400	2,500	2,600	2,600	1,800
		実績値	538	1,155	1,441	1,621	1,286

実 績	実 績	参加者総数1,286人 米田白山（4月）：213人 健康の森（5月）：172人 木曽川周遊（6月）：213人 文化の森（11月）：雨天中止 前平公園（12月）：152人 木曽川ダム（2月）：270人 伊深（3月）：266人
	効 果	年間7回ウォーキングイベントを開催し、運動の習慣化のきっかけとすることができた。また、ボールウォーキング講習会を開催し、より効果的な運動効果を体感する機会を提供できた。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	令和5年度からLOGOフォームにて参加申込みを開始し、事後の申込みにかかる受付に時間がとれなくなったが、R6年度からは市公式LINEのイベントコンテンツからもLOGOフォームに申し込めるようにしチャンネルを増やした。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	「ウォークみのかも」の参加者数については、雨天中止の影響もあり、目標値を達成することができなかった。 ウォーキングに参加したいと思える魅力的な要素が足りないことが考えられる。 現状から考えると目標値に大きく乖離があるため、令和7年度以降の目標値を再度設定した。
	実績からR07年度の 事業の方向性	R7年度についても引き続き、ホームページやすぐメール、楽天ブログなどを活用し、参加者増につなげる。 また、まちづくり協議会などの団体と連携して、魅力的なウォーキングイベントとすることで参加者増を狙う。

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	04400000	市民協働部 スポ振課		
大事業	A1	6 つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費		01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合					目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから								
小事業	03	市民大会開催事業		目標年度	令和6年度						



イン  
プ  
ット

事業実施の 背景にある課題	地域の関係性が希薄化する中、スポーツ活動を継続していくには同じ目標を持つ仲間と結束することが重要である。 また、市民が普段から親しんでいるスポーツの練習の成果を発揮できる場が求められている。					
対 象	市民全般					
目 的	市民が気軽に参加でき、日頃の練習の成果を発揮できる大会の開催し、「スポーツ・イン・ライフ」を実現、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図る。					
概 要	市民大会を開催し、日頃の練習の成果を発揮できる大会を開催する。 大会種目（全10大会） バレーボール、バドミントン、陸上競技、卓球（年2回）、ソフトバレーボール（女子・混合）、ミニテニス、自治会親善野球（軟式）、自治会親善レディースソフトボール					
事 業 費（千円）		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	676	1,706	1,719	1,735	1,539
	決算額	220	282	624	456	1,265
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		1,666 /				718

実 績	実 績	参加者総数 1,910人 レディースソフトボール大会 35人 市民卓球大会 春季 185人・秋季 159人 市民ソフトバレーボール大会 女子51人 混合110人 自治会野球大会 1,001人 市民バレーボール大会 129人 ミニテニス交流大会 12人 市民陸上大会 150人 市民バドミントン大会 78人
	効 果	市民大会10大会（市民卓球（春季 秋季）、ソフトバレーボール（女子の部・混合の部）、自治会親善野球、市民バレーボール大会、ミニテニス交流大会、市民陸上競技大会、市民バドミントン大会、市民ソフトボール大会）を開催し、普段の練習の成果を発揮できる場を提供することができた。



アウト プ ット	活 動 指 標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	参加要件の見直しや新たな大会の開催数	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	0	0	1	1	1

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	市民バレーボール大会の会場を男子と女子を別々で行っていたが、ちゅうたい大ホールで反面ずつ行い会場を一カ所出来たことで、体育委員等の自治会役員や競技役員等、運営サイドの簡素化を図った。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	市民ソフトボール大会はコロナ禍の影響により競技者人口が減り2チームしか参加申し込みがなかった。種目によっては昨年の参加者を上回る種目もありコロナ禍を経て、一概に参加者が減ってきているものばかりではないが目標値を達成することができなかった。徐々に回復傾向にはあるが、まだ数年は、停滞した状況が続くのではないが、 レディースソフトボール大会を廃止したため、R7以降の目標値を修正した。
	実績からR07年度の 事業の方向性	R7年度は市民ソフトボール大会の開催を無しとし、その代わりにジュニア種目として「バルクール鬼ごっこ」の体験会を開催しながら、市民大会を開催に向けて運営方法等を検討していく。

アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	市民大会参加者数	目標値	3,600	3,600	3,600	3,600	2,100
		実績値	0	0	500	2,063	1,910

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	04400000	市民協働部 スポ振課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費		01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから								
小事業	04	ちゅうたいクラブ事業		目標年度	令和6年度						



イン  
プ  
ット

事業実施の 背景にある課題	定期的なスポーツ活動の機会の喪失により免疫機能が低下し生活習慣病などを引き起こす恐れがある。 市民が初心者でも気軽に参加してスポーツすることができる機会の提供を求められている。					
対 象	市民					
目 的	市民に初心者向けのスポーツ活動の場を提供することで、スポーツ実施率の向上と「スポーツ・イン・ライフ」を実現し、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図る。					
概 要	市民一人ひとりの年齢や性別、関心や適性等に応じた多種多様なスポーツ活動の場を提供する。 ・クラブ種目（全18種目） ・参加者から会費徴収 1期会費1,500円（1期3か月を単位） ・運動体験教室 運動教室48回、トレーニングジム体験の通年開催 500円/回					
事業費（千円）		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	7,055	7,370	7,534	7,556	7,838
	決算額	5,266	5,931	6,873	7,125	7,529
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		4,445 /				1,991



実 績	実 績	参加者総数 20,394人 ちゅうたいクラブ19,400人 運動体験教室 761人、キッズ 219人 トレーニングジム体験 14人
	効 果	スポーツ実施率を向上し、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図ることができた。各参加者は関心や適正に応じて多種多様なスポーツを実施出来ている。



アウト プ ット	活 動 指 標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	新種目の設置や種目内容の見直し 件数	目標値	2	2	2	1	1
		実績値	2	2	1	1	3



アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	ちゅうたいクラブ参加者総数	目標値	20,000	20,500	21,000	21,000	21,000
		実績値	7,712	12,905	18,310	19,263	20,394

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	運動体験教室の新種目としてピラティス、ヨガ、ズンバを導入した。 また、利便性向上のため、LINEで申し込めるように変更した。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍を経てスポーツ以外の趣味に移行した人も多いと考えられるが、昨年度の参加者数19,263人に比べ令和6年度は20,394人と増えており、コロナ禍の影響が回復傾向にある。 現状から考えると目標値が乖離しているためR7以降の目標値を修正する。
	実績からR07年度の 事業の方向性	現状では、半年間（10月頃～）プラザちゅうたい大ホールが使えない予定のため、他施設を利用できないか、検討しながら、スポーツを行う機会を減少させないような取組を検討していかなければならないとともに、広報やホームページ、チラシの作成で市民に広報し参加者を募る。 また、参加者の利便性向上のため、キャッシュレス決済が利用できるように検討していく。

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	04400000	市民協働部	スガ振課
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費	02	保健体育施設費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから							
小事業	05	牧野ふれあい広場整備事業		目標年度	令和6年度					



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	本市には陸上競技場、アーチェリー場の専用施設がなく、それぞれの協会も長年施設整備の要望をされてきた。また、牧野ふれあい広場は都市公園であり、美濃加茂市地域防災計画においても地域防災拠点に位置付けられており、市東部地域の防災の要、防災拠点となる公園を整備し、この公園を核とした地域コミュニティの形成を図りたい。				
	対 象	全市民・施設利用予定者				
	目 的	牧野ふれあい広場（地域防災拠点機能を有する多目的グラウンド等）を整備することで、安心安全なまちづくりを進めるとともに、スポーツ活動を中心とした地域間交流とコミュニティを創出する。				
	概 要	牧野ふれあい広場整備 市民スポーツ（競技スポーツ、生涯スポーツ、健康スポーツ）の振興を図るため、牧野ふれあい広場の整備を進める。 地域防災拠点機能を備えた400mトラックを中心とする陸上競技場等の整備を目指す。				
	事 業 費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	16,903	165,942	428,557	239,672	545,547
	決算額	4,663	164,786	426,618	239,092	265,230
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	2,754 / 25				



実 績	実 績	牧野ふれあい広場整備工事 （全体仕上げ工事等） R06年度完了
	効 果	令和6年度の牧野ふれあい広場整備事業完了。



アウト プ ット	活 動 指 標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	現利用者からの要望対応率（％）	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100	100	100



アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	牧野ふれあい広場の整備率（％）	目標値	24.84	50.51	50.13	65.06	100
		実績値	24.84	38.12	42.79	64.54	100

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	陸上競技場（400mトラック）の整備、アーチェリー場の整備、サッカーなどの多目的広場の要望に対応した。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	牧野ふれあい広場整備事業完了。
	実績からR07年度 の事業の方向性	令和7年度からは、新規に牧野ふれあい広場事業として、施設の運用に向けた取り組み（牧野ふれあい広場の整備を完了すること（陸上競技場等の整備完了、受付用の管理棟設置完了、陸上備品の購入））を実施していく。

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	04400000	市民協働部 スパ振課		
大 事 業	A1	6 つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費		01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから								
小事業	13	かもけんウォーキング事業（定住）		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	現在各圏域で行っているウォーキング事業では、参加者が固定化し、コースがマンネリ化している状況がある。 また、それぞれの地域に歩いてみたくなるような魅力的な資源があるが、情報発信がうまくできていない状況がある。 今後各々の市町村でのコース設定には限りが出てくるため、そうなると参加者の減少といった課題が出てくる。				
	対 象					
	目 的	(1)対象 幅広い年代の圏域住民 (2)目的 ウォークをすることで、健康への意識付けと、運動習慣を身に付けるきっかけづくりを行い、その結果として健康寿命が延び、医療費の削減につながる。また、コースの途中に休憩ポイントを設置し、そこで各市町の特産品の試食などを行い、地域				
	概 要	年に1回、各市町村持ち回りでウォーキングイベントを行い、圏域から参加者を募集する(イベント内容は市町村で工夫する)。 ウォーキングコースに休憩ポイントを数か所設置し、それぞれの市町村に担当してもらい、地域の特産品等を試食してもらう。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額		100	550	568	453
	決算額		53	0	449	248
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	10 / 0				

アウト プ ット	活 動 指 標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	年に1回開催	目標値		0	1	1	1
		実績値		0	0	1	1

アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	参加者数200人	目標値		0	200	200	200
		実績値		0	0	120	131



実 績	実 績	【コースについて】 東白川村の街を堪能できるコースを設定。7.3kmの通常コースと5.2kmのショートコースを設定。 【移動手段について】 美濃加茂市、川辺町、七宗町、白川町の各拠点から東白川村会場へ、参加者の送迎を行った。52人の申込があった。 【PRについて】 チラシ、圏域市町村の広報誌、美濃加茂市のHP、すぐメール等でPR。 【おもてなしブースについて】 東白川村の名物、五平餅、つちのご焼き、トマトジュースを提供。
	効 果	村外から113人（全131人）に参加していただき、普段歩くことのない東白川村の街並み、名物を味わってもらいつつ、ウォーキングを楽しんでいた。おもてなしブース等を用意することで、楽しいイベント感覚で参加できる雰囲気を作り、普段ウォーキングをしていない層へのアプローチができた。 参加者については、美濃加茂市の参加者が非常に多く（131人中75人）、他の町村の参加が伸びない点が課題である。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成・未達成要因	活動指標「年に1回開催」ということに関しては、東白川村と連携し、開催することができた。開催にあたり、休憩ポイントで東白川村の名産である、五平餅、つちのご焼き、トマトジュースを提供し、参加者に味わっていただけた。
	K P I 分析 目標値の達成・未達成要因	成果指標「参加者数200人」に対して、実績は131人の参加であった。昨年度の120人という数字から改善が見られた。また、昨年度は圏域町村からの参加者が少なく、参加者の9割がウォーキングの会場であった美濃加茂市民であったが、今回は会場となった自治体以外の参加者が多く、113人（参加者全体の86%）に、村外から東白川村を訪れてもらい、村を知ってもらえるきっかけを作ることができたため、事業を行うことで一定の効果はあったと考えられる。ただ、人口が多い美濃加茂市民の参加が圧倒的に多い（131人中75人）という状況は続いている。
	実績からR07年度の 事業の方向性	令和5年度及び令和6年度の計2回、かもけんウォーキングを行ったが、開催地と美濃加茂市の参加者は多いが、それ以外の定住自立圏域の町村参加者はそれほど増えない状況であった。令和7年度の実施について、圏域町村には積極的に呼びかけたが、他に連携を希望する町がないため、令和7年度は実施しないこととする。事業を実施するには、全市町村が連携市町村として参加することが望ましい。